

令和5年度 第2回 学校運営協議会 議事録

日 時：令和5年10月21日（土）10:00～、12:00～・22日（日）10:00～

場 所：本校 *分散開催

司会者名：副校長

記録者名：副校長

出席者：学校運営協議会委員5名

欠席者：(委員) 東 宣子 様 *事前に意見聴取

(委員) 鈴木 学 様

(委員) 樋口 知幸 様 *事前に意見聴取

1 次 第

(1) 校長挨拶

(2) 商工祭(文化祭)の見学

(3) 議事

各グループ等からの報告及び意見交換

○カリキュラム開発グループ

・スタディサプリの取組状況について

・令和6年度入学者選抜制度の変更について

○ガイダンスグループ

・令和5年度卒業予定者の進路状況中間報告

○学校管理運営グループ

・今年度防災訓練実施状況について

・大規模災害時における東京ガスの前線基地使用について

○企画研究グループ

・令和5年度広報活動(学校説明会、中学校訪問等)について

○生徒指導グループ

・各生活指導(挨拶・服装・遅刻・交通安全指導等)について

・教育相談体制の整備について

○生徒支援グループ

・体育祭、商工祭(文化祭)の実施について

○総合ビジネス科

・地域・企業・上級学校等との連携推進について

○総合技術科

・産業教育フェアについて

・専門教育に係る機器の更新について

2 配付資料

(1) 令和5年度商工祭特設サイトのご案内

(2) 補足資料：各グループ等からの報告等

3 役割分担

- (1) 受付・案内 【副校長】
- (2) 司会・進行 【副校長】
- (3) 記録 【副校長】
- (4) 説明 【副校長】

4 議事録

(1) 議事

【カリキュラム開発グループ】

○スタディサプリの取組推進について

- ・スタディサプリの活用をすすめるため、各教科に計画的な課題配信への協力及び副担任等による生徒の取組状況等のチェックを行っている。

○令和6年度入学者選抜制度の変更について

- ・学力検査は3教科(英・国・数)のみ、特色検査として面接検査を実施

【ガイダンスグループ】

○令和5年度卒業予定者の進路状況中間報告

- ・現在のところ、半数強が就職希望、残りが進学希望で活動中である。昨年度より進学希望者が若干増加
- ・就職希望者の約90%以上が、すでに企業から内定をいただいている。

【学校管理運営グループ】

○今年度防災訓練実施状況について

- ・8月28日に防災訓練を実施した。内容としては、シェイクアウト訓練及び動画視聴による大規模地震発災時の対応について

○大規模災害時における東京ガスの前線基地使用について

- ・東京ガスとは大規模災害発生後に資材置場としての使用を許可する協定を結んでいるが、前線基地として体育館の使用は、継続検討中

【企画研究グループ】

○令和5年度広報活動(学校説明会、中学校訪問等)について

- ・昨年度に比べ、説明会への参加予約がすぐにいっぱいとなる。また、公私合同相談・説明会では、昨年より3倍の来場者があった。さらに、3年ぶりに全公立展をパシフィコ横浜で開催し、本校も広報活動を行った。

【生徒指導グループ】

○各生活指導(挨拶・服装・遅刻・交通安全指導等)について

- ・登下校時のマナーについて近隣より苦情が来ている。登下校時の立番指導を行っている。

○かながわ子どもサポートドックについて

- ・今年度よりSC及びSSWが原則週1回来校している。その有効活用も含め「かながわ子どもサポートドック」という制度を立ち上げた。

【生徒支援グループ】

○体育祭、商工祭(文化祭)の実施について

- ・昨年度のものをブラッシュアップして実施。

【総合ビジネス科】

- 企業・上級学校等との連携について
 - ・連携する企業等が増加している。箱根町の活性化のための連携を今年度より開始した。

【総合技術科】

- 産業教育フェアについて
 - ・例年と違う形態での産業教育フェアを横浜市役所アトリウムにて行う。
- 技術科の機器の更新について
 - ・高額の予算がつき、老朽化し更新の必要な機器を更新する。

5 意見交換

○スタディサプリについて

【中委員】スタディサプリの活用をすすめていることは評価できる。たとえ学力の向上に結び付かなくても、学習習慣の定着は大切である。取組の甘い生徒には、その成果をもとに動機付け、意識喚起を図るようなアプローチをしてほしい。

【小澤委員】学習習慣の定着は、重要である。

【中村委員】学力の向上よりも、学習に毎日取り組む姿勢が大切である。

【兼田委員】スタサプの活用推進への取組は、評価できる。

【千葉委員】スタサプの課題配信の頻度や量などがちょうどよく、学習の理解や定着に効果をあげていると思う。

○令和6年度入学者選抜制度の変更について

【小澤委員】面接を課すことは、マッチングを考えると重要である。中途退学者を減らすためにも必要と考える。

【兼田委員】入学者選抜制度の変更については、自信をもって取り組んでほしい。

○令和5年度卒業生の進路状況中間報告

【中委員】計画的なキャリア教育について、学校説明会や中学校訪問の際にはもっとアピールしたほうが良い。

【小澤委員】高卒が金の卵となっている中で、進学希望者が増えるのも時代の流れなのかなあ？と思う。

【兼田委員】就職内定率の高さは、評価できる。

○令和5年度広報活動(学校説明会、中学校訪問等)について

【兼田委員】中学校訪問など地道な広報活動ご苦労様です。

【小澤委員】公私合同説明・相談会等を通じて、商工高校をもっとPRできるとよい。

【東委員】ハマロード清掃や盆踊りのお手伝いなどの地域貢献活動に感謝する。

【中村委員】地域の連携をすすめていることは評価できる。今後も地域に貢献してほしい。

【千葉委員】多くの中学校の高校学習会に呼ばれているということは、商工高校に対する注目度が高いことの表れである。

○各生活指導(挨拶・服装・遅刻・交通安全指導等)について

- 【小澤委員】サポートドックの取組はよい。その効果に期待している。また、商工生が挨拶をしっかりとできることは、学校訪問の際に実感している。マナーチェックを抜き打ちで行うなど、指導にも工夫をしてほしい。
- 【兼田委員】どの学校にも支援が必要な生徒が在籍している。サポートドックが充実することを期待したい。
- 【千葉委員】登下校時における自転車乗車マナーの指導を徹底してほしい。
- 体育祭、商工祭(文化祭)の実施について
- 【中委員】昨年度よりも来場者が多いと感じた。内容も充実している。
- 【兼田委員】生徒が良く動いていた。また、教職員の熱量もすごく感じた。
- 【千葉委員】商工パスやホームページにおける特設サイトなどの取組は、大変すばらしかった。
- ビジネス科による企業や上級学校等との連携について
- 【中委員】企業や上級学校等との連携は、生徒のモチベーションを高めるよい取組である。
- 産業教育フェアについて
- 【中委員】他校生徒との交流などでもできる良い場と考える。学校側もそのような機会を活用してほしい。
- 【小澤委員】ビジネス科生徒の活躍ぶりが目立った。技術科生徒も作業服を着用するなどしてもっと展示のPRをしてもよかった。技術科も人とのコミュニケーションが大切な時代である。生徒のコミュニケーション能力を高めてほしい。
- 技術科機器の更新について
- 【樋口委員】高額な実習設備の更新により、生徒の技術力が高まることに期待したい。
- その他
- 【千葉委員】過去に幼稚園の子どもを相手にオモチャの修理をするなどの地域貢献活動をしていた。そのような取組は、今後も継続してほしい。